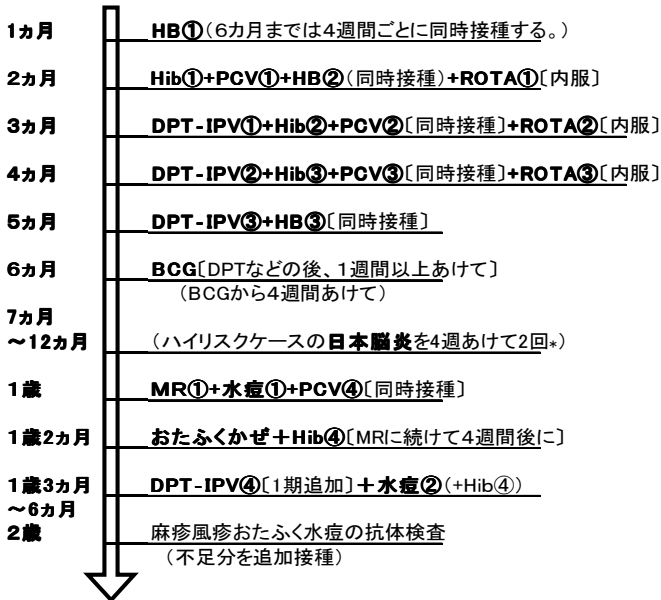


# 乳幼児の予防接種スケジュール<ケースに合わせた推奨スケジュール>

## 乳児期の予防接種スケジュール《A》

### 【B型肝炎を急ぎたい人の推奨コース】

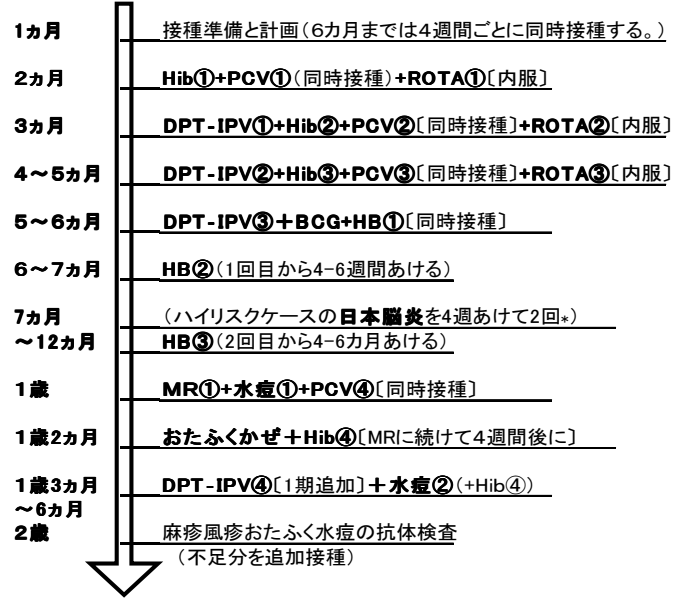
家族内に、母親以外のB型肝炎の感染者がいる場合はより早期の1か月から始めます。あえてワクチンが混み合っている、2か月から打つ必要はありません。多くても3本の太ももへの注射と内服で、ゆったり接種できます。



## 乳児期の予防接種スケジュール《B》

### 【B型肝炎を1歳までに、ゆっくりの推奨コース】

B型肝炎の希望接種は、家族内に感染者がいなければ1歳までに接種すれば十分。あえて混み合ってくる2か月から打つ必要はありません。4種混合の3回目やBCGと同時に始めるとう利です。BCGが集団の地域は5-6か月に予定する。そのあとで4種混合、ロタの3回目とB型肝炎を始める。



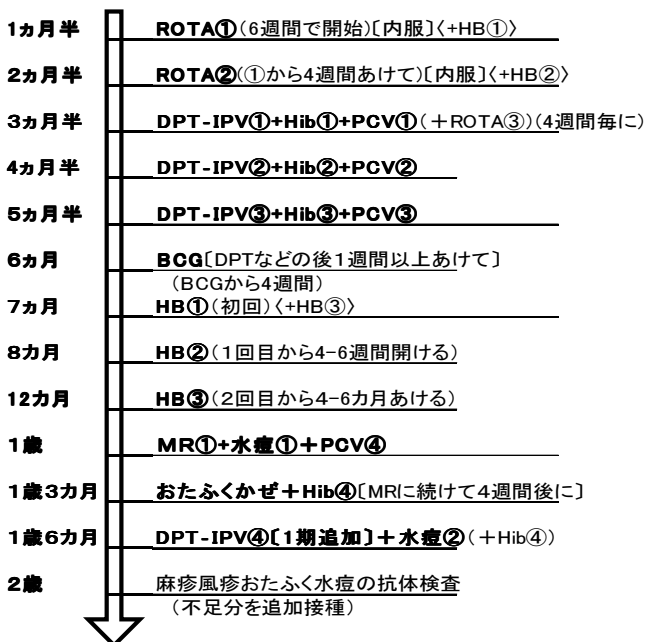
Hib; アクトヒブ、PCV; 小児用肺炎球菌、ROTA; ロタ胃腸炎〔内服〕、DPT-IPV; ジフテリア破傷風百日咳-不活化ポリオ 4種混合  
HB; B型肝炎、BCG; 結核、DPT; 3種混合、IPV; 不活化ポリオ、MR; 麻疹風疹2種混合、  
\*日本脳炎のハイリスクケース: アジアへ渡航、養豚場近郊、あるいは5年間以上の海外生活

2017.6改定

## 乳児期の予防接種スケジュール《C》

### 【1-2月に生れてROTAを急ぎたいコース】

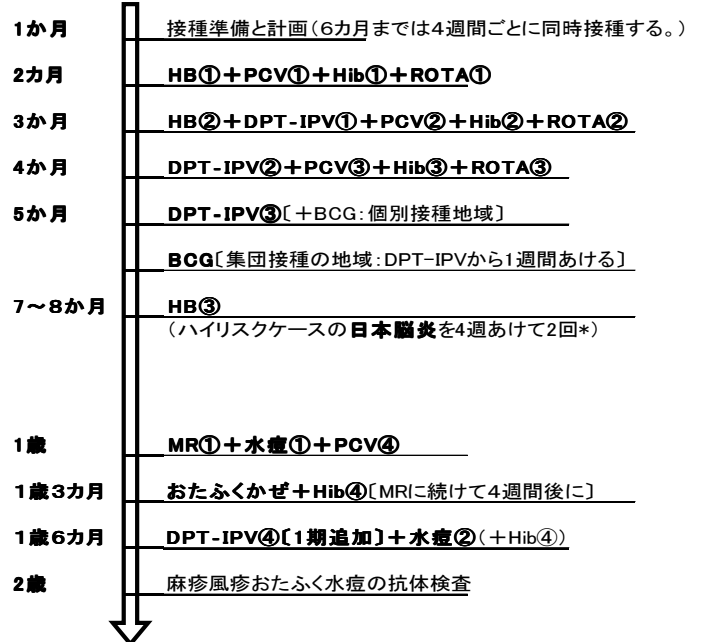
1-2月に生まれてロタワクチンの免疫を急いで高めたい時は、6週間と10週間で接種して(HBも同時に打っても良い)14週目から4混とHibとPCVの同時接種を4週間毎に始める。その1週後にはBCGを組んで、その4週間後からHBを開始する。



## 乳児期の予防接種スケジュール《D》

### 【小児科学会・小児科医会の推奨コース】

2か月からの同時接種にB型肝炎を加えて計画。3か月では、4本を左右の太ももに2本ずつ注射しなければいけない。B型肝炎の3回目から1歳まで、空白期間ができる。乳児保育を計画しやすい。



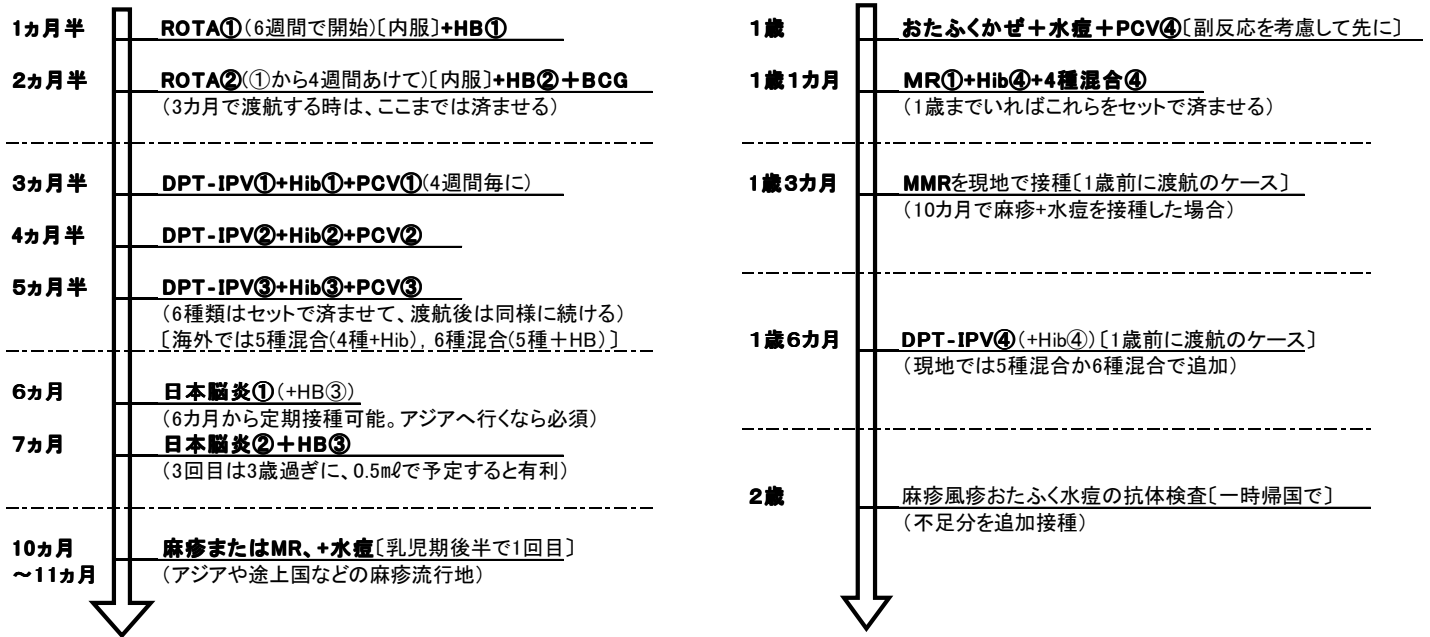
Hib; アクトヒブ、PCV; 小児用肺炎球菌、ROTA; ロタ胃腸炎〔内服〕、DPT-IPV; ジフテリア破傷風百日咳-不活化ポリオ 4種混合  
HB; B型肝炎、BCG; 結核、DPT; 3種混合、IPV; 不活化ポリオ、MR; 麻疹風疹2種混合、  
\*日本脳炎のハイリスクケース: アジアへ渡航、養豚場近郊、あるいは5年間以上の海外生活

2017.6改定

## 予防接種スケジュール モデル《E》

【3-4カ月齢で海外移住を予定している場合】

渡航日が迫り、Hib、PCV、4種混合などを3回接種していけないときは、日本での必要最低限を打って残りは海外にゆだねる。生後6週間目から、1か月間隔でロタワクチンとB型肝炎を2回接種する。2回目の時にBCGを同時接種する。後は、現地で5種混合(DPT,IPV,Hib)とPCVを計画する。BCG、日本脳炎、水痘はできるだけ日本で国産ワクチンを接種する。渡航月齢に合わせてできるところまで計画する。それ以降は現地で続けられるように計画する。《渡航月齢で区切る》



Hib; アクトヒブ、PCV; 小児用肺炎球菌、ROTA; ロタ胃腸炎(内服)、DPT-IPV; ジフテリア破傷風百日咳一不活化ポリオ 4種混合  
HB; B型肝炎、BCG; 結核、DPT; 3種混合、MR; 麻疹風疹2種混合、MMR; 麻疹風疹おたふくかぜ3種混合  
5種混合(DPT,IPV,Hib)、6種混合[5種混合+HB]

2017.6改定

### 《麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査の評価》

2017.7 名鉄病院予防接種センター

感染症ごとに検査法が異なりますので次のように判定します。検査の目的と趣旨を理解して、陰性の感染症は速やかに接種してください。接種後6週間以上あけて再検査を忘れないように。陽性を確認して初めて有効です。

検査方法とその評価：【 】を推奨

発症予防のための追加接種推奨基準

#### ①麻疹(はしか、ましん、Measles、Rubeola)

- 【NT】：4倍以上が陽性で、罹患しない〔推奨〕・・・・・・・・・・・・・・・・ 4倍未満
- 【PA】：256倍以上が陽性〔入学・留学・スクリーニングで推奨〕・・・・・・・・ 128倍以下
- 【HI】：8倍以上が陽性〔接種後3年以内は評価できる、幼児〕・・・・・・・・ 8倍未満
- (ELISA/IgG)：8.0以上を陽性とする〔急ぎの時のみ〕・・・・・・・・ 8.0未満

#### ②風疹(三日ばしか、Rubella)

- 【HI】：16倍以上が陽性、罹患しない〔推奨：小児と男性および感染対策〕・・・・ 8倍以下
- 妊娠希望の女性は 32倍以上を陽性として維持する・・・・・・・・ 16倍以下

#### ③おたふくかぜ(ムンプス、流行性耳下腺炎、Mumps、Parotitis)

- 【ELISA/IgG】：6.0以上を陽性とする〔幼児から学童で推奨、安心な評価〕・・・・ 6.0未満
- (学生や成人は 5.0以上を陽性と判断、重症化しない)・・・・・・・・ 5.0未満
- (HI)：8倍以上が陽性〔小児の罹患評価。青年やワクチンの評価は不可〕・・・・ 8倍未満

#### ④水痘(水ぼうそう、Chicken pox、Varicella-Zoster)

- 【ELISA/IgG】：4.0以上が陽性〔推奨〕・・・・・・・・・・・・・・・・ 4.0未満
- 【IAHA】：2倍以上が陽性〔幼児で1回接種後の評価〕・・・・・・・・ 2倍未満
- ：4倍以上が陽性〔未接種者・2回接種後・青年・成人の評価〕・・・・ 4倍未満

★学生・感染対策スクリーニングは、麻疹 PA・風疹 HI・おたふく IgG・水痘 IgG を推奨。

★婚活妊活・育児保育目的は、百日咳予防の DPT(DPT-IPV)を追加接種して、スクリーニング検査をする。